

2026年3月27日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

1級受検番号 N0:03F3620547 氏名:K.S (茨城県 在住)

■1級技能士を目指したきっかけ
<p>企業内キャリアコンサルタントとしての活動期間が長くなる中で、新たに同じ役割を担う後進が加わりました。育成観点で関わりをするにも、果たして自分にはその力があるのかわからないまま手探りを続けていました。</p> <p>育成者としての力を確かなものにするには、入口として1級技能士の称号に到達することが必要だと考えました。</p>
■当初の勉強法
<p>2級受験の際に他団体の試験対策講座を受講したものの3回不合格となった末に、当会の2級試験対策「講師が本試験ケースの事例相談者役を演じるロールプレイゼミ」を受講し、目から鱗が落ちる経験をして合格することができました。よって、1級に挑戦する際には右往左往せず当初から当会の1級キャリア塾で基礎から学ぼうと決めていました。</p> <p>2024年度に1級キャリア塾で同期の皆さんと切磋琢磨し、先生方から愛のあるダメ出しをたくさんいただき、自習では当会の「1級実技試験(論述・面接)合格バイブルⅡ」を繰り返し活用しました。</p> <p>結果、ある程度高い精度で、論述、面接ともに実技試験の合格水準に達する手応えを感じました。併せて、学科試験対策は当会の「キャリアの青本Ⅳ」「キャリアの青本Ⅳプラス」を読み込み、「キャリアの赤本ドリル」を繰り返し行いました。結果、2024年度の学科試験、実技試験(論述)は初回受験で合格しました。一方、実技試験(面接)は不合格でした。</p>
■合格のきっかけ
<p>事例指導者としての「在り方」を時間内に伝わるように試験官に示す。このことを第一優先にして試験に臨めば、結果的に合格はついてくることを実行できたことだと思います。</p> <p>2024年度には頭でわかっていたことだと思いますが、後述の「私の怖れ」にしっかりと向き合えていなかったため、実行できなかったのだと思います。</p>
■論述試験対策
<p>当会の「1級実技試験(論述・面接)合格バイブルⅡ」を繰り返し活用しました。</p> <p>所要点に至らなかった解答から芳しくない記述を学び、所要点を超えた解答から、論述試験は実技試験であり、事例相談者の抵抗無くシステムティックアプローチを進められることを学びました。</p>
■面接試験対策
<p>当会の「講師が本試験ケースの事例相談者役を演じるロールプレイゼミ」を受講し、先生方からのフィードバックから、実技試験(面接)において、私には主に3つの弱点があることに改めて気づきました。(1)リアクションが丁寧すぎる。(2)タイムマネジメントが疎かになりがち。(3)具体的な方策のイメージを強く持てていない。</p> <p>対策として「自分の弱点を振り返り、どのように克服するか、自分と向き合う一人の時間」を多く持ちました。</p> <p>3つの弱点は全て「私の怖れ」の現れであることに気づきました。</p> <p>この気づきによって「試験の時間はどのように振舞うことが、怖れを払拭する上で望ましいか」を、合格のゴールイメージからバックキャストして考えることができました。</p>

■受検される方へメッセージ

全ての受験者の皆さんが強み、得意なことを持っていると思います。

おそらく、強み、得意なことは本番試験でも発揮され、加点につながっていると思います。

強みを発揮できたのに所要点に届いていないのであれば、弱み、得意ではないことの伸びしろを存分に活用して加点につなげることが、合格に向けて肝要だと思います。

自分の弱みに向き合うことや克服するための努力は、辛く苦しい時間ではなく、将来の自分に訪れる人生の分岐点において、選択の自由度を広げることにつながる、今できる準備行動ではないでしょうか。